

全国直売所研究会 第8回西日本ブロック大会

in 大分・豊後大野清川

平成26年 10月3(金)・4(土)日

【会場】 豊後大野市清川町 神楽会館

【基調講演】 「家族・集落・女性の底力」

～T字型集落点検から見える地域の未来像～

熊本大学教授 徳野貞雄先生



【報告】 「中山間地の直売所がめざすもの」

～人生80年時代、役立ちプレミアム世代が「幸せの収穫」を直売所で展開する～

(有)清川ふるさと物産館 後藤政美社長

【パネルディスカッション】

「直売所の担い手と地域の未来像」

主催 / 全国直売所研究会・第8回西日本ブロック大会実行委員会

後援 / 大分県・豊後大野市・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・大分合同新聞社

【お問合せ先】 全国直売所研究会 TEL 03-5913-2627 FAX 03-5913-2628

(有)清川ふるさと物産館 TEL 0974-35-2117 FAX 0974-35-2130

「全国直売所研究所」第8回西日本ブロック大会ホームページ <http://www2.dokidoki.ne.jp/doinaka>

どなたでも
参加できま
すよ！



第8回西日本ブロック大会 in 大分・豊後大野清川の開催について

大会：10月3日（金） 13：00～19：30
 バスツアー：10月4日（土） 08：30～17：00

研究テーマ

「直売所が支える中山間地の農業・家族・生活」 ～セガレよ、ぼちぼちかえっちこんか～

超高齢化、限界集落・・・中山間地の農業をめぐる話題は暗い。ここ旧清川村（豊後大野市清川町）もかつて7,000人いた人口が2,000人を割るようになり、数字だけ見れば20年後には誰もいなくなってしまう地域のようにも見えます。

しかし、直売所に出荷する農家は皆元気です。80歳を過ぎても夫婦2人で工夫をすれば200万以上の売り上げがあります。年金と合わせれば豊かな生活が楽しめます。地元を巣立った子供たちも週末には戻って農作業を手伝います。農業に生活をかける就農者も10人近くいます・・・

この大会では、現代の農山漁村の「集落ドクター」として八面六臂の活躍をされてます熊本大学徳野貞雄先生を迎え、道の駅きよかわをはじめ全国の中山間地の集落を題材に、これからの直売所が果たすべき役割を、地域に住む家族の生活と照らし合わせながら、明らかにすることを目的としています。



【参加費】 大会のみ出席：2,000円 大会+交流会：5,000円 バスツアー：2,000円

※宿泊は各自で御負担ください。（宿泊場所 ホテルますの井・ホテル豊洋）

全国直売所研究会 第8回西日本ブロック大会日程

※内容など変更する場合がございます。

10月3日（金）大会日程

時間	内容	登壇者など
12：00～13：00	受付	
13：00～13：10	歓迎アトラクション 豊勇太鼓	豊勇会
13：15～	開会 全国直売所研究会 会長挨拶 来賓挨拶	全国直売所研究会事務局長・青木隆夫氏 全国直売所研究会会長・長谷川久夫氏
13：30～14：30	基調講演「家族・集落・女性の底力」	熊本大学教授・徳野貞雄先生
14：30～14：45	報告「中山間地の直売所がめざすもの」	(有)清川ふるさと物産館・後藤政美社長
14：45～15：00	休憩	
15：00～16：30	パネルディスカッション 「直売所の担い手と地域の未来像」	新規就農者・週末帰農者・地元後継者などをパネラーとして予定 コーディネーター 徳野貞雄先生
16：30～17：00	質疑応答 (交流会会場へ移動)	
17：30～19：30	交流会	豊後大野市の農産物とお酒

10月4日（土）バスツアー日程

Aコース（山コース）

08：30 出発（三重市内 / 竹田市内）→ 09：15 道の駅竹田視察 → 11：25 道の駅ふいん視察 → 11：55 昼食（湯布院 / 勢吉茶屋）→ 12：40 観光（湯の坪横丁他【自由散策】）→ 15：00 由布院IC → 16：00 大分空港 → 17：10 大分駅

Bコース（海コース）

08：30 出発（三重市内 / 竹田市内）→ 09：20 道の駅北川はゆま視察 → 10：55 佐伯海の市場〇 → 12：15 道の駅かまゑ視察・昼食 → 13：30 佐伯IC → 16：00 大分空港 → 17：10 大分駅

徳野貞雄先生プロフィール

1949年、大阪府貝塚市生まれ。熊本大学文学部総合人間学地域社会学教授。食と農の専門家として日本全国の農村に出かけ、フィールドワークをこなし活動派。全国合鴨水稲会世話人。『道の駅』命名者。主な役職として、九州農業・農村デザイン塾々長、九州畜産さんの会主催者、全国合鴨水稲会世話人、国土交通省地域振興アドバイザー。研究分野は農村社会学、農業社会学、地域振興論。農村を軸に地域社会の構造変動や住民の生活構造についての研究。担い手問題や農業後継者問題および有機農業運動など農業問題における人間の社会的領域に関する研究。関連して現代社会における消費者（国民）の食生活構造など、「マチおこし」「村おこし」のシステム開発や地域活性化集団の運営および農山村型第三セクターに関する研究。社会学の他の領域にもつよい関心がある。

著書『農村（ムラ）の幸せ、都会（マチ）の幸せ～家族・食・暮らし～』、『ムラの解体新書』、『転換期における農業農村の進路』、『家族・集落・女性の底力』等がある。

道の駅きよかわ (有)清川ふるさと物産館 夢市場

清川村物産センターは、平成2年にJR豊後清川駅に併設する清川村直営の産地直売所としてスタートしました。10年後の平成12年に「道の駅きよかわ」の登録にあわせて現在の場所に移転。「身土不二」をコンセプトに生産者の顔が見える直売所として「清川ふるさと物産館 夢市場」と改称。経営も会社方式として市の指定管理を受けました。

現在200余名の出荷者、年間売り上げ3億2千万円。『九州じゃらん』の九州・山口道の駅満足度ランキングのテイクアウト部門で第1位に選ばれました。「夢にむかってしらす典拠」を合言葉に、更なる発展を目指しています。

